

産別結集強め、健康でまともな暮らしができる賃金・労働条件の実現へ

2021年春闘討論集会



願署名』を前面に掲げ、安全・安心の医療・介護の実

日本医労連は11月26日、2021年春闘討論集会を開催し、6全国組合39県医労連から、オンライン参加も含め約200人が参加。春闘構想に基づき、討論を行いました。

「いのち署名」広げ 社会保障拡充の必要性を世論化しよう

森田進書記長が春闘構想を提起しました。

医療・介護要求を実現する21春闘に

森田書記長は、コロナ禍において、医療・介護現場での働き方がさらに大変になっていることや、一時金の引き下げも出ていることに触れ、医療・介護労働者の賃金と労働条件をきちんと改善させながら、国民のいのちと健康を守り、医療・介護要求を実現する21春闘にしたいと強調。コロナ禍のもとで、十分ではないが、国に様々な政策を

とらせたのは、我々が声をあげて全国の医療・介護現場での状況を訴え続けてきた結果と述べ、私たちの要求を春闘で実現するために産別統一闘争に結集することが極めて重要であると改めて呼びかけました。21春闘でも引き続き、「生計費原則」に基づき要求討議を深め、「月額4万円以上」「時間給は誰でも250円以上」の賃上げを日本医労連の統一要求としてたたかうことを提案。安全・安心の医療・介護を実現する大運動として、「いのち署名」を広げ、社会保障拡充の必要性を世論化しようと呼びかけま

した。また、有期契約労働者への不合理な格差を禁止した労働契約法20条の適用をめぐる裁判の判決に触れながら、有効に使えるものは大いに活用し、非正規雇用労働者の均等待遇を実現をめざす春闘にしましょうと強調しました。

討論では、4つの組織から発言があり、取り組みの報告や秋闘の状況、春闘構想に対する意見等がだされました。集会のまとめで森田書記長は、「今日学んだこと、議論したことを各組織に持ち帰り、大いに議論を進めていただきたい」と呼びかけました。



コロナと向き合う労働者の運動

——世界のたたかいから考える
全労連事務局次長・布施恵輔氏



講演要旨

ILOはパンデミックによって全世界で4億9500万人分のフルタイム雇用が失われ、労働者の収入が10%減少していると警告している。国連貿易開発会議(UNCTAD)が9月に発表した年次報告では、「未来は過去のそれとは異なる」という副題がつけられた。またノーベル経済学賞を受賞した世界銀行の元チーフエコノミストのジョセフ・スティグリッツもコロナピア大学教授は、世界銀行が発行する月刊誌の中で「経済のルールを包括的に書き換える必要がある」と強調している。今回のパンデミックによ

って痛めつけられた経済、社会に、従来の対策ではない、根本的な改革が必要だ。英国では7月に医療を含む公務員100万人を対象に賃金引き上げを行うことで組合と使用者である政府が合意。医師・歯科医師は2・8%、教員3・1%、警官2・5%の賃金引き上げで、今年の公務員協約に含まれない看護師は19年に4・4%引き上げで労使合意が結ばれている。ドイツでは7月に医療労働者に1500ユーロの特別ボーナス支給で組合と合意。前年の公共サービスの賃金改定で、3年かけて8・8%の賃金引き上げて合意している。

日本医労連とも交流のあるフランスCGT(労働総同盟)医療労組などからの情報では、7月13日に政府と労組代表が80億ユーロ(平均9370円)の支出で合意し、一人183ユーロ(約2万2千円)の支給が行われる。米国でもパンデミック下で医療と労働者の安全を守る取り組みが広がり、組織化も進んでいる。同じ公共サービスの米国の教員ストには学ぶべき点が多い。要求実現と一緒に仲間を増やし、草の根からの組織化で運動を広げ組織も拡大している。

今必要なのはあきらめずに声をあげること。世界の仲間と同じように、労働組合が前に出て運動を進めよう。

脈路

毎日午後三時三〇分を過ぎた頃に「ふやして！」と電話が鳴る。息子からの電話だ。Switchのオンライン

インゲームに夢中で将来の夢を聞くと「プログラマー」と。電話口では「手洗いたか？宿題やったか？靴そろえたか？明日の準備は？」あげたらきりが無い。帰宅し玄関をあけると靴は明後日の方向に廊下には投げ捨てられたカバンとジャンパーが…。それだけ夢中なのでゲーム時間の設定が遠隔操作できる「みまもりSwitch」のアプリをダウンロード。父がスマホで時間を操作しているのだ。毎日の息子からの電話は「やることやったので」ゲーム時間をふやして！の電話だ。ポケベルから携帯電話がだんだんと普及され、メール機能も広がり、今はスマホにオンラインの時代。労働組合活動は、集まること、対話することが重要でこれからもそれは変わることはないが、今年度はコロナ禍によって労働組合活動にもオンラインの活用が余儀なくされた。オンライン会議・集会、SNS発信の普及によって、TwitterやTikTokもバズれば、何百万の人の目にとまりマスコミからの取材も殺到。可視化や広げる手段の一つとしてヒントになった部分もある。集まって対話する労働組合の基本活動を柱に、新しい手段も上手に活用しながら、いのちまもるアクションを展開し、仲間をふやして！要求を実現させたい。

年末一時金4割で前年比減

国は迅速な財政支援を

日本医労連は、「新型コロナウイルス重点・協力医療機関調査」を行い、新型コロナウイルス感染症疑い患者受入機関と、それ以外の医療機関(計406)で、年末一時金の回答にどのような影響があるかを発表しました。調査期間は11月9日～11月13日、298組合から集約しました。

日本医労連は11月25日、年末一時金の回答状況について記者発表を行い、政府に対して緊急に第6次の要請書を提出しました。

年末一時金
10万円以上の削減も

調査結果では、昨年の支給実績との比較が可能な289組合中、44・3%(128組合)で年末一時金削減の実態が明らかになりました。支給

月数の平均は昨年比0・149カ月減、支給額では平均4万3315円の削減でした。そのうち31組合で10万円以上の削減、最大で1・22カ月(約35万円)削減の報告がありました。昨年比からの前進回答は12・5%(36組合)でした。

森田進書記長は、「国民の命と暮らしを守ることは政府の責務であり、開会中の臨時国会で財政支援を緊急に行うべきだ」と訴え、政府が

夏より状況悪化
国は支援にスピード感を

森田進書記長は3割を超える医療機関で削減となった夏季一時金結果を上回る削減数に対し、「状況は明らかに悪化している」と報告し、「重点医療機関に指定された病院の場合、病床確保料の補助などが支払わ

れれば4月～5月の赤字を埋められるのではと期待したが、重点指定の65・8%が減額回答。国からの交付金の支払い時期に差があり、今後、補填の可能性もあるが、支援にスピード感がない。感染症の最前線で働く労働者に支援が届いていない」と指摘しました。森田書記長は、「責任感や使命感で働いている医療、介護従事者にも、これ以上持たない状況が差し迫っている」と訴え、政府に医療機関への迅速な財政支援などを求めました。

会見には、12社を超える報道陣が駆け付け、多数のメディアで報道されました。



▲日本医療労働会館に駆け付けた報道陣

精神保健医療福祉の改善を求める

1万5千筆 国会請願署名 提出



11月24日、日本医労連は、昨年から紹介議員になって38名の議員に対し、約1万5千筆の「精神保健医療福祉の改善を求める国会請願署名」提出を行いました。紹介議員は、署名の取り組みを始めて以来、中央行動など議員

紹介・賛同議員一覧〈11月24日現在〉					
議員名	衆・参	政党	選挙区	19年	20年
道下 大樹	衆	立民	北海道1	●	
小沢 一郎	衆	立民	岩手3	●	
横沢 高德	参	立民	岩手		●
木戸口英司	参	立民	岩手		●
寺田 静	参	無	秋田	●	
石垣のりこ	参	立民	宮城	●	
上田 清司	参	無	埼玉		●
真山 勇一	参	立民	神奈川	●	
下条 みつ	参	立民	長野2	●	
務台 俊介	衆	自民	長野2		●
吉良よし子	参	共産	東京		●
重徳 和彦	衆	立民	愛知		●
嘉田由紀子	参	無	滋賀	●	
倉林 明子	参	共産	京都	●	
白石 洋一	衆	立民	愛媛3	●	
安達 澄	参	無	大分	●	
赤嶺 政賢	衆	共産	沖縄1	●	
屋良 朝博	衆	立民	沖縄3	●	
伊波 洋一	参	無	沖縄	●	
神谷 裕	衆	立民	(比) 北海道		●
浅野 哲	衆	国民	(比) 北関東		●
長谷川嘉一	衆	立民	(比) 北関東	●	
青山 大人	衆	立民	(比) 北関東	●	
笠井 亮	衆	共産	(比) 東京	●	
岡島 一正	衆	立民	(比) 南関東	●	
志位 和夫	衆	共産	(比) 南関東	●	
本村 伸子	衆	共産	(比) 東海		●
松田 功	衆	立民	(比) 東海	●	
斎藤 洋明	衆	自民	(比) 北陸信越	●	
柚木 道義	衆	立民	(比) 中国	●	再●
小川 淳也	衆	立民	(比) 四国	●	
横光 克彦	衆	立民	(比) 九州	●	●
稲富 修二	衆	立民	(比) 九州	●	再●
市田 忠義	参	共産	比例	●	
田村 智子	参	共産	比例	●	
紙 智子	参	共産	比例	●	
小池 晃	参	共産	比例	●	
福島みずほ	参	社民	比例		●

※●印は紹介議員、○印は賛同の、再●印は既に応諾済の議員となります。

私たちの要求を署名の取り組みから国会に届け、日本の精神科医療の問題を明らかにし、患者・利用者本位の精神保健医療福祉への改革や精神科医療の充実をはかることが必要です。

来年から新たな署名に移行します

精神部会では、この間の運動を進展させると共に、精神科病院における新型コロナウイルスへの対応も踏まえた新署名の取り組みを協議中です。

要請を行う中で、年々増加してきています。

臨時国会閉会が迫る中、議員から「署名を提出しました」との連絡が、本部に続々と届いています。

署名の取り組みを進める中で、柚木道義議員や矢上雅義議員による国会質問や議員との懇談を実現してきました。

職場では、新3役がすべての職場で労働組合は誰でも入れる事を伝えました。職場で声をかけまくと1週間で5人加入し、その後もちょっと強引に声をかけ2週間で7人、更に呼びかけ、1カ月で10人の組合員が26人まで増えました。今回、全員に声をかけたので、次の機会には「誰が組合役員か」「組合活動は何をやっているのか」など解るようになっているから、少し期間をおいてまた誘う予定です。何かあった時に手の届くところに労働組合があるようにしていきたいです。

運動の中で新しい仲間を迎え入れよう

とね虹の里労働組合 組合員激増

とね虹の里労働組合は、利根中央病院労働組合の分会として結成し、2019年7月から独立して、群馬県医労連に直接加盟しています。

今年9月、とね虹の里労働組合は、前執行委員長が退職となりました。新役員や組合員が労組加入を呼びかけ、1カ月で10人から26人(2・5倍)の組織拡大を達成しました。

仲間からのメッセージ

私たちの組合は、これまで組合活動がほとんど行っていない中、執行委員長が突然に退職。当初は、どうなるのか

不安でした。

そんな時、県医労連書記長が組合存続のために話をしてくれ、県医労連が今までに何度も施設に来てくれていたことや、機関紙を作ってくれていたことなどを知りましていたことなどを話し合いました。県医労連とも話し合った結果、「労働組合をゼロから始める気持ちで頑張ろう」と決意しました。

最初に、10人の組合員に組合存続の決意を手紙で伝えました。次は加入の呼びかけです。県医労連書記長の援助を受け、退勤時間に職員玄関で帰宅する職員に声をかけ、職場で困っている事や大変なことなどを聞きながら組合宣伝

日本医療労働組合連合会 書記局員募集

日本医療労働組合連合会(日本医労連)本部の書記局員を募集します。医療・介護・福祉関係労働者の賃金・労働条件の改善、大幅増員をはじめ、安全・安心の医療・福祉の確立にむけた労働運動に熱意のある方を募集します。(応募締切までにご紹介がない場合、一般公募を行います)

- 【募集人員】 若干名
- 【募集条件】 要自動車免許、簡単なP C操作(ワード文書・エクセル表作成等)年齢は35歳くらいまで(キャリア養成のため)日常会話程度の英語力がある方を優遇します。
- 【勤務地】 東京都台東区入谷1-9-5
- 【勤務条件等】 日本医労連規約・規定に基づく(国家公務員に準ずる)
- 【応募締切】 2020年12月28日を予定します。
- 【採用日】 2021年2月1日(相談に応ず)各加盟組織からの推薦、ご紹介をお願いいたします。とりわけ労働組合活動経験者を優先して採用する方向で考えています。よろしくをお願いします。

【問い合わせ・履歴書送付先】
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3階
日本医労連・総務財政局 電話 03-3875-5871

広範な繋がりで『いのち署名』の推進を

―第11回地域医療を守る運動全国交流集会―

11月23日キャラバン行動の終結行動となる「第11回地域医療を守る運動全国交流集会」WEBを開催しました。ウェビナーでの視聴は、ピークで127回線。事前登録の際に報告のあった集団視聴は約70人で合わせると約200人の集会となりました。

地域労連や地域社協と
共同して運動を広げよう

特別報告では、秋田・東京・石川・静岡の先進的な取り組みを紹介しました。



秋田県医労連の松坂金浩書記長は(写真右)、意見書採択の取り組みで秋田県議会をはじめすべての市町村議会に採択された経験を報告しました。これまで、民意は議決も重視！住民とともに議会活動も重視！と位置づけ、2016年以降「安心・安全の医療・介護の実現」のため、地域の

各地の取り組みから



石川県医労連の嵯峨猛書記長は(写真右)、424問題とコロナ禍での病院運営に関する厚労省交渉について報告

実情を踏まえた施策を求める取り組みを進めてきた結果が今回の市町村議会の採択に繋がったことを紹介しました。都立病院の充実を求める連絡会の高橋美明さんは、緊迫する都立・公社病院の「地方独立行政法人化」、コロナ禍で「都直営」放棄に走る小池都政とのたたかいについて報告しました。また、都議会請願署名を共同した取り組みで開始し、2月の予算議会までに集める決意を述べました。

意見交換では、全医労・岩手・千葉・岐阜・愛知・大阪・広島・徳島からの間の貴重な経験が報告されました。参加者からは、「広範な団体・個人とのつながりが一層求められる必要性を強く感じました」「署名やアンケートを広げ、変化が生まれている経験が心強く思いました」など感想が寄せられました。

最初に菅首相が打ち出した「自助・互助・公助」はそもそも災害時のプロセス論で、社会保障の在り方そのものを変質させていると指摘しました。

1950年以降の「健康自己責任論」の歴史的系譜(下図)を紹介しながら、政府は一貫してこの健康自己責任論を謳ってきたと指摘、そしてそれに伴って健康・医療関係の産業化を促進するといことが大きな目的であると語りました。

そして、全世代型社会保障会議では、財界主導の委員が選ばれている中、「今後、感染症の視点も含めつつ、地域医療構想・働き方改革・医師の偏在対策は正に取組むべき」「国民皆保険の

ありがたみを、非常に多くの人が実感した」といった指摘もあることを紹介しました。最後に、芝田教授は「国民が望む医療制度体制」に触れ、「コロナ禍にありながら、自己責任論や粛々と病床を削減しようとしているが、「病床再編統合検証期限」、「新公立病院改革プラン」が延期されたことで国民のニーズに合った医療提供体制を行わせるような時間的な余裕ができた。国民が望む医療とは何なのか、災害や感染症に備えた医療提供体制をどう整備していくのか、という運動をしていくことがますます重要になってきている」と述べ講演を終えました。

表1 厚生白書(厚生労働白書)に見る健康自己責任

年度	引用文
1956年度版	・自らの健康を保ち、その増進させるための一切の努力を怠っていない
1957年度版	・個人個人としては、自己の健康の保持増進のため、努力を払っている
1984年度版	・医療費の増加を抑えていくためには、個々人が健康に注意し、病気にならないように気をつける
1991年度版	・壮年期からの健康づくりをはじめとして、自分自身の人生に主体的に責任を持って関わる
1997年度版	・基本的には自らの生活を自らの責任で維持することが基本
2006年度版	・人は働いて生活の糧を得、その健康を自ら維持していこうと思うことを出発点とする
2007年度版	・国民一人一人に期待される役割は大きく、自らの健康は自分で守るという認識の下、運動、食事、禁煙に留意した日常生活を送ることに努める
2008年度版	・国民生活は国民一人一人が自らの責任と努力によって営むことが基本
2010年度版	・国民生活は国民一人一人が自らの責任と努力によって営むことが基本

出典：厚生労働省「各年度版厚生白書(厚生労働白書)」より筆者作成。

https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/kousei (最終閲覧日 2020年5月5日)

STOP介護崩壊 署名、年内やい切ろう ―7団体で共同取り組み―



11月25日、参議院会館で、「STOP介護崩壊署名」提出行動が行われ、2万6235筆を提出しました。(日本医労連3048筆)。

この行動は、全労連ほか、認知症のひと家族の会など7団体が共同で取り組みました。集会で、日本医労連介護対策委員の、久保達太郎さんは、「介護職は、感染リスクの中、利用者さんと、その家族のいのちと生活をまもる、その使命感で頑張ってきました。しかし事業所の減収により、賃



金・一時金はカット。介護への補償が圧倒的に不足しています。と訴え、集約した「ひと言葉カード」を、激励にかけた倉林明子参議院議員に手渡しました。(写真上)

同じく介護対策委員の田村優美さんは、北海道からWEBで参加し、深刻な介護現場の実態や、自治体要請の様子を報告しました。他にも、利用者など各方面からの発言がありました。

署名を受け取った倉林議員は、介護報酬について「今あげなければどうする。総選挙で介護に財源を充てる政権をつくらう」と挨拶しました。年内10万筆を目標に取り組んでいる介護署名をさらに積み上げ、「安全・安心の介護の実現」にむけ、意思統一しました。

仲間を増やし、変える春闘

黒澤幸一事務局長が、「コロナ禍だから仕方がない」という諦めを乗り越えて、仲間を増やししながら「変える」春闘にしよう、と、方針案(第1次案)を提案。具体的には団体交渉など大幅賃上げを求める職場闘争に加え、安定雇用や公務・公共サービス体制の充実、改憲阻止など「社会運動」の両方を成功させることが重

厚労省は人材確保の観点からも引き続き処遇改善を促進し賃金改善を図っていくと回答。しかし、特定処遇改善加算は創設されたものの、取得率は介護分野で約65%、障害福祉においては46・2%に留まっている。早急に実効性のある改善を求めました。

▽人員配置について

障害児(者)施設の人員配置基準 一対一への引き上げ要求について、厚労省は、2019年実施の「障害者支援施設

▽福祉・介護職員の 処遇改善について

要請は、福祉部会から5人参加、厚労省側は、社会・援護局など14人が対応しました。冒頭、佐々木中央副執行委員長が要請の主旨説明をし、「児童・障害福祉施設の人員配置の引き上げを求める団体署名」188団体分を手渡しました。

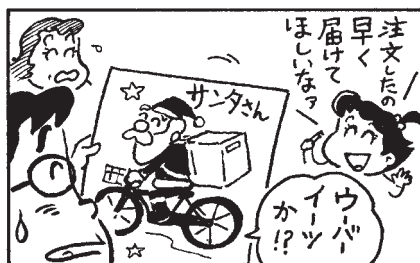
福祉部 人材不足を解消し 最低配置基準の実施を

日本医労連福祉部会は、12月4日、障害者福祉や児童福祉をめぐる問題について、厚生労働省要請を行いました。



「言いたい劇場」

小菅りや子



第52回中央委員会のご案内

【日時】

2021年1月19日(火) 13時開会

2021年1月20日(水) 12時30分閉会予定

【会場】

メイン会場『エデュカス東京 7F会議室』 Z o o m併用
〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1

【議事】

(1) 承認事項

- ①2020年度上半期会計報告・会計監査報告
- ②医労連共済事業局運営委員補充(案)

(2) 採決に付す議案

- ①第1号議案「2021年春闘方針(案)」
- ②第2号議案「第10次組織拡大強化3ヵ年計画(案)」
- ③医労連共済制度見直し・規定改定(案)

(3) 投票を要する案件

- ①2021年春闘産別スト権投票、②役員補充選挙

【パズル解答】

1743号の答えは「リフレッシュ」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。

【応募方法】

①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を1/14(木)までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。

【応募先】

〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」FAX 03-3875-6270
e-mail: n-ask@irouren.or.jp

年末年始の受付について

休業中の事故受付

【火災受付】

住宅災害損害センター
03-3366-7908

【自動車共済】

北海道	0120-252-924
東北	0120-246-250
関東	0120-898-819
中部	0120-365-625
西日本	0120-242-365

医労連共済の年末年始業務についてご案内します。年末年始業務は12月28日まで、年始業務は1月4日からです。申し込みなどの締め切りは次の通りです。

【加入受付】
火災の加入、異動・解約については12月31日・郵送到着分(FAX含む)まで12月受付分として扱います。

【給付受付】
給付請求は、12月28日まで、郵送到着分までを1月15日の給付決定予定で手続きします。

【給付受付】
給付請求は、12月28日まで、郵送到着分までを1月15日の給付決定予定で手続きします。

医労連共済だより

日・郵送到着分となりま

医療の眼

新型コロナウイルス

以下、新型コロナウイルス感染症拡大で「医療崩壊」が危惧される背景には、これまでの効率優先の医療提供体制の再編縮小や、医師・看護師をはじめとする医療従事者の抑制政策、そして感染症対策の要となる保健所を減らしてきた日本の医療・社会保障政策があり、そのことが医療現場に多大な混乱と苦難をもたらした。国民のいのちを危うくしている。いま、医療・社会保障削減政策の抜本的な転換が求められています。

脆弱な日本の医療・社会保障

1980年代からの「臨調行革」・「構造改革」路線によって医療・社会保障削減政策が本格化した。2014年の「医療・介護総合確保法」では、新たな病床削減の仕組みである地域医療構想を導入した。2025年時点の病床数を、本来必要な152万床から119万床に、33万床削減する構想です。急性期病床がある440の公立・公的病院を名指しして病床の削減や統廃合を迫っています。しかし、感染症指定病床をもつ全国367病院のうち、9割を超す346病院が公立・公的病院であ

2021年、「いのち」が大切にされる医療・社会保障の実現を

しかし、感染症をはじめ、名指しリストに載った24病院は感染症病床のある病院です。そもそも地域医療構想は、感染症対応の病床を確保するという視点を欠いており、名指しリストの公表をはじめとする地域医療構想の推進は中止すべきです。その上で、各都道府県が作成する医療計画に、感染症対応の病床や医療従事者の確保計画、人工呼吸器やECMO(体外式膜型人工肺などの医療機器、感染防護員の備蓄計画を具体的に盛り込む必要があります。重症の感染症患者を治療するICU(集中治療室)の病床数(人口10万人当たり)をみると、ドイツは29・2床と世界的にトップクラスで、また、医療崩壊が起こったイタリアでも12・5床です。日本は4・3床(ICUに準じた機能をもつ病床人員で換算しても最大13・5床)と極端に少なすぎます。本来医療には、常にぎりぎりまで入院患者を受け入れる「効率化」ではなく、緊急時のため余力・余裕のある病床・人員体制が必要です。

その運動の要として、「いのち署名」を前面に掲げ、憲法25条が示している「生存権」「健康権」が、すべての人々に健康と福祉を享受する権利が保障されるよう、医療・社会保障実現の2021年にしていきましょう。

森田 しのぶ



●こんなときから組合の存在が光っていると最近つくづく感じています。

(兵庫・川崎一美)

●いのち署名の賛同・紹介議員が増えてうれしいです。10・22総行動の写真を客席に置くのは画面越しにみると、た

くさんの人がいるように見えました。本当に集まれなくても全国にたくさんのなかまがいることを再確認できました。(京都・川西暉)

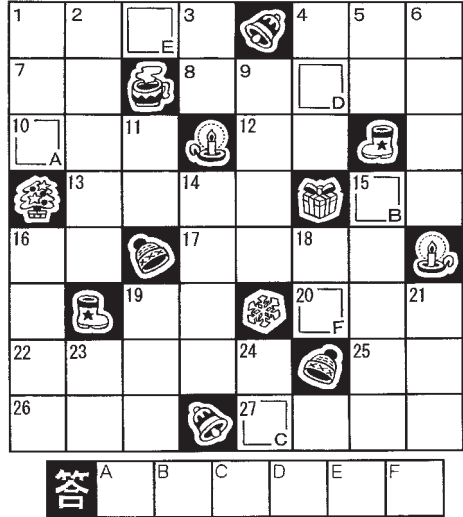
●今回、年末一時金の大幅減額を受け、ストライキを行いました。ストライキの内容は署名と「アベノマスク」ではなく「ストノマスク」を患者さんに配布しました。患者さんからは「ありがとう!病院も大変ですね。頑張つて!」とエールをいただきました。コロナに勝つにはみんなの助

け合いが大事なのだと実感しました。(熊本・田畑健伸)

●病院はコロナ陽性者から感染拡大させないために戦々恐々ですが、介護施設では感染拡大させないながらも、それまでの楽しみを少しでも続けられないかのせめぎ合い。ボランティアも面会も歌声も力にならないう状況ですが、なったら申し訳ない。当たり前で自由な楽しい日常が早く戻ってきますように。(ペンネーム・獅子十六)

ザ★クロスワード

出題▶モロゾミ勝



答	A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---	---

■ヨコのカギ

- サンタクロースのソリを引きます
- 冬至の日のお風呂
- 人間万事塞翁が……
- 正月用品などを売る市
- 自分の家です
- 那須与一は……の名人
- 手品よりは大がかりかな?
- 食……旺盛。……張り
- 利己主義。……イスト
- 余暇。……ランド
- ノックをして入ります
- 就寝中のクセ
- 奈良の大仏があるお寺
- 似た者同士。……は友を呼ぶ
- 集まり。映画の……
- 串に刺して焼いた鶏肉

■タテのカギ

- 昼が最も短い日
- 早口言葉「ナナムギナ」
- 釣り……。クモの……
- 湯茶をのむ器
- 中国王朝の一つです
- 皮膚などがくっついてしまうこと
- お祝いの言葉
- 買わなければ当たらない宝……
- 配偶者のことです
- 牛乳・乳酸菌の食品
- サンタさんの出入り口?
- 家の最上部にあります建物の基礎
- 片付け。……整頓
- 無用の長物。……の太木
- ……の道はへび